

令和6年11月 21日(木)





TEAM 戸上

千曲市立戸倉上山田中学校だより NO. 5

文責 塚田伸一

全国学力・学習状況調査の結果から（4月18日実施）

4月に全国の中学3年生を対象として、国語・数学の2教科調査が実施されました。8月末に出された結果をもとに、戸上中でも分析をしましたので、その概要についてお知らせします。

国 語	<p>平均正答率は、全国、長野県の平均正答率（以下県平均）をすべての項目で上回る結果となりました。よくできていた問題は「文章から自分の考えを書くこと」や「文章から着目する内容を要約すること」などに関する問題です。課題として見えてきたこと、その課題に対して取り組んでいくことは以下の通りです。</p> <div><p>【結果から見えてきた課題】</p><p>○文章と図を結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈する力</p></div> <div><p>【授業改善の方向性】</p><p>○ICT 機器などを利用し、資料を整理して読み取る活動を取り入れます。</p><p>○グループ活動を設定し、様々な考えに触れながら、学びあう時間を確保していきます。</p></div> <div><p>【このように学習してみよう！】</p><p>○図や表の入った資料や説明的文章に多く触れる機会を増やしていこう。そこから、自分なりの考えを持つことを意識していこう。新聞を読み、自分の考えを持つこともおすすめです。</p><p>○日々の反復的な学習を続けていこう。</p></div>
数 学	<p>平均正答率は、全国、県平均と同程度でした。よくできていた問題は「データの活用」、「グラフの読み取り」などの問題です。課題として見えてきたこと、その課題に対して取り組んでいくことは以下の通りです。図形については、昨年度より課題として上がっています。</p> <div><p>【結果から見えてきた課題】</p><p>○文字を用いた式で数量を表す力</p><p>○事象を数学的に解釈し、問題を数学的に説明する力</p><p>○図形の証明の問題より、筋道を立てて証明していく力</p></div> <div><p>【授業改善の方向性】</p><p>○ICT 機器を利用し、図形に自ら働きかけて認識する活動を取り入れます。</p><p>○問題文を図示して整理したり、要約したりする活動場面を増やします。</p></div> <div><p>【このように学習してみよう！】</p><p>○図形をとらえるときに、図形の中に学習した基本的な図形が隠されていることが多くあります。その図形が見つけれられるように、日頃から見えないところはどこになっているのか、いろいろな方向から見てみよう。</p><p>○問題から言えることを書き出したり、かき込んだりして、分かっていることを整理してから問題に取り組んでいこう。</p></div>
質 問 紙	<p>学校・学習全般に対する質問紙では、「友や周りの人と話し合い、互いに協力しながら課題解決に取り組んでいる」という回答が多く見られました。また「自分の考えを発表する場面で、自分の考えが伝わるように工夫した」「教科の学習は大切だ」という回答も多かったです。今年度、本校のグランドデザインの中心の1つとしている「学び合い」による学習の成果のひとつと考えます。今後も、友との学び合いを大切にしながら、自らの深い学びにつながるように支援していきます。</p> <p>生活面では、「認められていると感じる」や「学校が楽しい」という質問に肯定的に答えている回答が多かったです。</p>

「全教科で取り組みたいこと」 全教科で取り組みたいこと、生徒の皆さんへのアドバイスは次の通りです。

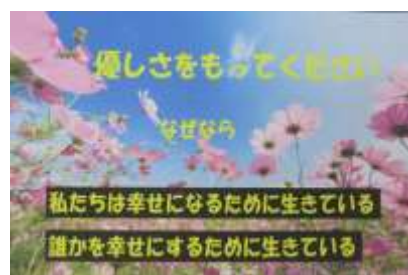
学習していることを、自分事にしよう。

- ア：課題（何を学習するのか、何を解決するのか）を明確にして学習に取り組もう。
- イ：学習したことを自分の言葉で表現してみよう。
- ウ：振り返りを丁寧に行い、学習前の自分と比べてみよう。
- エ：意見を交換しながら、友の考えとの共通点や相違点を見つけ自分の見方や考え方をを広げていこう。
- オ：家庭学習など、授業以外で学習に取り組む習慣を身に付けよう。

人権講話（11月7日実施）

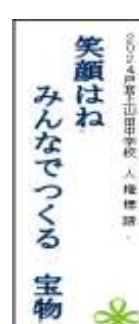
人権教育月間(11月)にあわせ、校長先生から人権講話がありました。

講話では、「優しさにふれたことはありますか？」という問いかけから、優しい人とはどんな人かを考える時間になりました。優しさは自分も、相手も変える力を持っています。その中で優しい人に近づくには、「人に対してやってはいけないことを、やらない自分をつくること」というお話がありました。このことは、学校教育目標の「自立した生徒」につながります。そして何よりも、みんなが安心して、自分のありのままを出しながら学ぶ学校につながります。当たり前のことですが、優しさをもって行動できるようにしていきたいですね。



また、校内には生徒の皆さんが考えてくれた人権標語がたくさん貼られています。一つ一つ読みながら、皆さんがしっかりと自分のこと、相手のことを考えていることが伝わってきます。

生徒だけでなく、私たち職員も人権感覚を磨いていきたいと思っています。



編集後記

先月、地域の方からお電話をいただきました。

「交差点で停車中、小学生の女の子が自転車で転倒。近くにいた戸上中の3人の生徒が、すぐにその子に駆け寄り、1人は自転車を起こして自転車を脇に、1人は「大丈夫？」と声をかけ、1人は優しくその子連れて横断歩道を渡る姿をみて、あまりに自然な連係プレーで感動しました。」という内容です。

電話を受けて、「戸上中の生徒は、こうした行動を当たり前でできる人に育っている」と、とてもうれしい気持ちになりました。

今後とも、ご家庭、地域の皆さんに支えていただきながら、教育活動をすすめてまいりたいと思います。よろしくお願いします。